

# 「大学入学共通テスト」実施初年度 入試における志望動向と出願指導

「大学入学共通テスト」の実施を始め、様々な制度変更のある2021年度大学入試では、志望動向にどういった特徴が見られるのか。「第1回ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試」の結果から志望動向を分析するとともに、今年度の3年生を指導する教師2人に、「大学入学共通テスト」から出願校決定までの指導方針について聞いた。

## 志望動向 分析

### 受験人口減少でも、難関国立大学は志望者数を 維持、私立大学はコロナ禍の影響が顕著に

#### ◎世相を反映した系統別志望動向

2021年度大学入試は、「大学入学共通テスト」(以下、共通テスト)の実施などの制度変更に加え、新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、志望動向に特徴がある。

「第1回ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試」における志望動向でまず着目したのは、系統別の志望動向だ。医学、薬学、理学などの系統が前年並みの志望者数を維持する一方、語学系統や国際関係学系統では志望者数が減少した(P.4図1)。ベネッセコーポレーション教育情報センターの谷本祐一郎センター長は、社会情勢が志望動向に影響していると語る。

「ニュース等で医療従事者が注目されている影響と安全志向の緩和が



ベネッセコーポレーション  
教育情報センター  
センター長  
谷本祐一郎  
たにもと・ゆういちろう

らか、国公立大学の医学部医学科

では志望者数の下げ止まりが見られ、薬学系統は前年並みの志望者数となっています。私立大学の保健衛生学系統の志望者数も前年並みですが、これは学部・学科の新設が相次いだ募集人員増加の影響だと考えられます。一方、コロナ禍で留学などの制限が出ている語学系統や国際関係学系統、業界が打撃を受けている観光学系統は志望者数の減少が目立ちます。

情報科学や情報工学などの情報学系統は、受験人口が減少する中でも志望者数は前年並みを維持しており、人気は継続していると言える。

#### ◎難関国立大学は志望者数を維持

次に着目したのは、受験人口が減少しても、国公立大学の医学部医学科や難関国立大学の志望者数が前年並みである点だ。国公立大学全体の志望者数は対前年指数で96で、国立大学は97、公立大学は96と減少し

#### 2021年度大学入試 志望動向の特徴

**理高文低・資格志向が顕著に** 薬学系統や情報学系統では、志望者数の対前年指数を維持、または増加傾向。文系は、志望者数が減少傾向の系統が多く、国際関係学系統や観光学系統の減少が目立つ。

**安全志向が弱まる** 国公立大学全体の志望者数が減少する中、国公立大学の医学部医学科や難関国立大学では前年を維持。

**地元志向が強まる** 所属校の所在地と同じ所在地の大学の志望者数は、北海道、東北、中部・東海で、国公立大学全体の対前年指数が高まる。

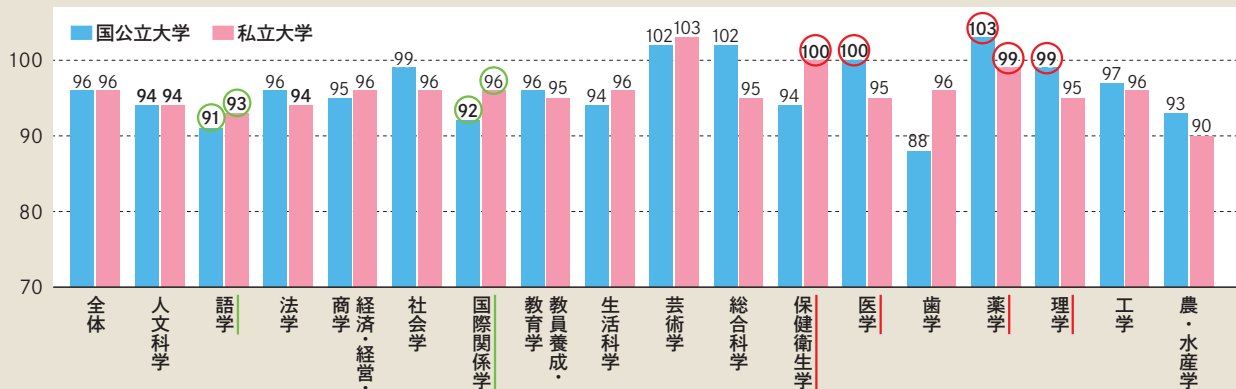
**私立大学の共通テスト方式、全学部方式の志望者数が増加** 受験や移動に伴う感染リスクを減らそうとする動きが、志望動向にも影響。

ているのに対し、国公立大学の医学部医学科や難関国立10大学(\*)は、ともに100だった(P.4図1・2)。

「20年度入試では、新制度となる21年度入試を控えて受験生の安全志向がかなり強まりました。その反動と過年度生の減少の影響からか、21年度入試では、難易度が高い大学・

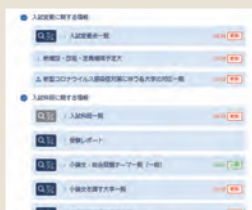
\* 北海道大学、東北大学、東京工業大学、東京大学、一橋大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、神戸大学、九州大学。

図1 国公立大学・私立大学の系統別の志望動向



数値は、前年の志望者数を100とした際の指数。\*ベネッセコーポレーション「2020年度第1回ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試」の結果を基に編集部で作成。

図3 「ベネッセハイスクールオンライン」での情報提供



「ベネッセハイスクールオンライン」では、各大学の情報をテーマ別に一覧化して情報提供。

**【テーマ例】**

- ・リスニングで注意すべき大学一覧
- ・科目対策で注意すべき大学一覧
- ・新型コロナウイルス感染症対策に伴う各大学の対応一覧
- ・入試変更に関する情報
- ・初年度納付金・奨学金・受験料割引

アクセスはこちらから ▶ <https://bhs.benesse.ne.jp>



図2 国公立大学の志望動向

	志望者数		指数
	2019年度	2020年度	
国公立	853,064	821,718	96
国立	626,166	604,432	97
公立	226,898	217,286	96
難関国立10大	133,512	134,046	100
ブロック大	159,019	153,804	97
その他国公立大	560,533	533,868	95

難関国立大学のみ対前年指数を維持

\*ベネッセコーポレーション「2020年度第1回ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試」の結果を基に編集部で作成。

学部の志望者が強気である様子が見えがえまます」

一方、地元志向は強まっている。所属校の所在地と同じ所在地の大学の志望者数は、北海道、東北、中部・東海で、大学全体の対前年指数96を2ポイント以上上回った。

◎**コロナ禍の影響が顕著な私立大学**

私立大学全体の志望動向を見ると、共通テスト方式の志望者数の対前年指数が103、一般方式は93と差が大きい。共通テスト方式を導入、及び実施拡大する大学も多く、その影響だと考えられる。

「私立大学の志望動向には、コロナ禍を考慮して受験回数や移動の機会を減らそうとする受験生の意識が表れています。地方会場があり、全学部方式を実施する大学では、全学部方式に志望者が集まっています」

ただし難関私立大学では、共通テスト方式を大幅に拡大した早稲田大学などを除いた志望者数を見ると、共通テスト方式よりも一般方式に人氣が集まっている。難関私立大学のセンター試験利用方式で合格するには、非常に高い得点率が求められてきたことを踏まえての動向だろう。

◎**例年よりも一層丁寧な情報収集を**

合否判定における共通テストの英語のリーディングとリスニングの配点比率は、各大学が判断するが、多くの国立大学はセンター試験よりもリスニングの配点を高めている。リスニングを新たに一般選抜で合否判定に利用する大学も増えていることから、個別の情報収集が必要だ。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、選抜方法の変更や出題範囲の配慮なども生じている。例えば、個別学力検査を課さず共通テストの成績のみで合否判定をする国立大学や、罹患<sup>りかん</sup>して受験できなかった場合の特例措置として共通テストや調査書等で合否判定する大学もある。

「制度変更によりコロナ禍が加わり、例年以上に各大学の情報発信には注意が必要です。『ベネッセハイスクールオンライン』では、各大学の情報をテーマ別に一覧化して掲載しています(図3)。ぜひ活用していただければと思います」

次ページからは、ここまで見てきた志望動向を踏まえながら、今年度の3年生を指導している教師2人に聞いた、共通テストから出願までの指導方針についてお伝えする。

出願までの  
指導方針

# データと教師の知見を基にした助言で、 生徒自身が納得する進路選択へと導く

自校の生徒の志望動向

**地元志向で、早く進路を決めたいという生徒が増加**

**谷本** 武石先生は進路指導主事、原田先生は高3学年担任を務められています。貴校の3年生の志望動向はどのような状況でしょうか。

**武石** 本校では、国公立大学の志望者数に大きな変動は見られませんが、元々強い地元志向が今年度はさらに強まっています。加えて、早く進路を決めたがる生徒が目立ち、進路希望でも学力に不安を感じている生徒の中には、早々に総合型選抜や学校推薦型選抜で専門学校への進学を決めたケースも少なくありません。

**原田** 本校も同じような状況です。今年度の3年生は、地元の学校に進学したいという生徒が増えていますが、また、一般選抜に向けて頑張っていた生徒が学校推薦型選抜を志望するなど、私立大学や専門学校の推薦入試で早く進路先を決めたいという

心情が見えます。熊本市内の専門学校の中には、入学定員に達したためか、11月上旬に募集を締め切った学校があると聞き、大変驚いています。

**谷本** 両校とも、模擬試験の結果から見える志望動向と同じような状況ですね。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、大半の大学で、生徒が現地を訪問する形のオープンキャンパスが実施されませんでした。その影響はありますか。

**原田** オープンキャンパスで実際に大学を見て、感じることで、志望校への思いを強くする生徒は大勢います。そうしたことができない状況が、一般選抜まで第1志望合格へのモチベーションを維持できない生徒の心情につながっているのかもしれないですね。本校では、少しでも大学のリアルに触れてほしいと考え、志望者が多い大学の担当者に来校してもらい、校内で大学説明会を実施しました。

**武石** 本校でも、秋田大学に依頼し、校内で大学説明会を開きました。説

明会終了後、大学担当者に熱心に質問する生徒の姿が見られ、大学と生徒が接点を持つ大切さを痛感しました。そこで、各大学がオンラインで開催するオープンキャンパスや説明会の情報を生徒に伝えて、参加を促しました。コロナ禍の影響で入試方法などを変更する大学もあるため、私たち教師も例年以上に情報収集に力を入れています。

「大学入学共通テスト」の直前指導  
今すべきことを着実にこなす  
生徒が最後に伸びる

**谷本** 「大学入学共通テスト」(以下、共通テスト) 前の最後の模擬試験が終わりましたが、入試本番に向けた指導では、どのような点に留意されていますか。

**武石** 本校では、3年生に限らず全学年で、模擬試験の結果が出る度に、教科・科目ごとに成果と課題を分析し、弱点克服のポイントを見いだす

検討会を実施しています。その内容を3学年分まとめた進路便りを生徒全員に配布し、それを見て、各自が必要な対策を考え、実行できるようにしています。

**原田** 本校では毎年、3年生の志望校検討会を7月上旬と11月下旬に実施しています。1回目は希望進路を重視して志望校を検討し、2回目は難易度や入試方式、次年度での再



秋田県立本荘高校  
進路指導主事 **武石知也**

熊本県立宇土中学校・高校  
高3学年担任 **原田大賢**

ベネッセコーポレーション **谷本祐一郎**

チャレンジも視野に入れるかなど、共通テスト後の出願校決定を見据えて意見を出し合います。

**谷本** 現役生は最後まで伸びると言われますが、その力を発揮できる生徒とは、どのような生徒でしょうか。

**原田** 夏、秋と成績が振るわなくても、日々すべきことに着実に取り組み、最後に一気に伸びて合格をつかんだ生徒を大勢見てきました。そうした経験から、「漠然とした不安と戦うな。ゴールから逆算して今すべきことを可視化し、それを着実にこなそう」と生徒に伝えています。

3年間を通して目標を持って頑張ったものの、志望校合格に届かなかった生徒は、次年度の再チャレンジも頑張ることができ、学力は伸びるでしょう。しかし今、頑張り切れなかった生徒が次年度に再チャレンジしても、やはり最後まで踏ん張らず、厳しい結果が予想されます。

**谷本** 生徒がすべきことを実行できているか、どのように見取るのですか。

**原田** 私は、担当教科の英語で希望者に添削指導を行っています。その解答から生徒の心理状態が透けて見えます。先日も、実力から考える

とあり得ない間違いをした生徒がいたため話を聞くと、「不安で焦っている」と打ち明けられました。生徒の様子をつぶさに捉えて、声をかけるようにしています。

**谷本** 添削指導など、日々の指導から生徒の様子を丁寧につまえることの大切さを、改めて感じました。

**武石** 生徒を最後まで頑張り抜かせる上で、面談も重要です。進学実績が高かった学年の担任にどのような指導をしていたのかを聞くと、その教師は生徒との面談を繰り返し、信頼関係を育むことを重視していました。担任が各大学の入試方式などを詳細に調べ、生徒が把握できていない情報を提供することも、信頼感につながります。「ベネッセハイスクールオンライン」の「受験レポート」を活用して情報収集をしたり、大学説明会・各種研究会の報告書を職員会議で配布したりして、進路指導部として担任の支援をしています。

私が3学年担任を務めていた時には、個人面談のほかに、同じ進路を目指す生徒を集めたグループ面談をよく行っていました。悩みを分かち合わせ、使っている問題集や勉強法などの情報を共有させることで、「受



秋田県立本荘高校 進路指導主事  
**武石知也** たけいし・ともや  
教職歴23年。同校に赴任して9年目。数学科。

#### 秋田県立本荘高校

- ◎秋田県南部の日本海に面した由利本荘市に位置する地域の進学校。校標は「石文尚武」「質実剛健」「玲瓏同氣、学校教育目標は「将来の社会を担う人材となるべく、人格の完成と真理の探究に努める心身ともに健全な生徒を育成する」。毎朝30分間の「石文タイム」を設定し、学習の振り返り等を行う。
- ◎設立 1902（明治35）年
- ◎形態 全日制／定時制／普通科／共学
- ◎生徒数 1学年約240人（全日制）
- ◎2020年度入試合格実績（現役のみ）  
国公立大は、東北大、秋田大、お茶の水女子大、新潟大、秋田県立大、国際教養大などに76人が合格。私立大は、青山学院大、慶應義塾大、早稲田大などに延べ202人が合格。
- ◎URL <http://www.honjo-h-akita-pref.ed.jp>

験は団体戦」という意識を持たせることができると思います。

#### 出願校決定に向けた指導

### 度数分布を活用して

### 合格可能性を正確に捉える

**谷本** 出願校決定に向けた指導につ



熊本県立宇土中学校・高校 高3学年担任  
**原田大賢** はらだ・だいけん  
教職歴20年。同校に赴任して2年目。英語科。

#### 熊本県立宇土中学校・高校

- ◎2009年度、中学校を新設し、併設型中高一貫校に移行。12年度、世界で活躍する人材の育成を目指す「グローバルリーダー育成プロジェクト」を開始。19年度にはアメリカ・ミネルバ大学進学者を輩出。文部科学省スーパーサイエンスハイスクール」の指定は現在2期目。
- ◎設立 1920（大正9）年
- ◎形態 全日制／普通科／共学
- ◎生徒数 1学年約240人（高校）
- ◎2020年度入試合格実績（現役のみ）  
国公立大は、筑波大、横浜国立大、広島大、熊本大、熊本県立大などに53人が合格。私立大は、慶應義塾大、法政大、早稲田大、同志社大、西南学院大などに延べ302人が合格。
- ◎URL <https://sh.higo.ed.jp/utosh/>

いて教えてください。

**武石** 本校では、基本的に昨年度までのセンター試験の指導と変わリません。生徒には事前に、共通テストの得点の幅に応じた3つの出願パターンを考えさせておきます。担任は、生徒が考えた出願パターンを基に、同じ学部系統の他大学について

